

東北復興 PSW にゆうす

2013年は皆さんにとってどんな一年だったでしょうか。東北では福島県を舞台としたNHK大河ドラマ「八重の桜」や岩手県を舞台としたNHKの朝ドラ「あまちゃん」が放映され人気を博し、プロ野球では楽天が日本一に輝きました。また、2020年のオリンピックが東京に決まるなど明るいニュースも聞こえてきました。その一方で、いまだ先行きが見えずに不安を抱えながら生活をする方々にも数多く出会いました。東北は長い冬の真ただ中にあります。いつか来る雪解けを待ちながら、日々の生活を営んでいます。「復興」においてもいつか必ず暖かな春が訪れ、芽が息吹き、そこでの生活に幸せを感じる事ができるよう、願いと決意を抱きながら新しい年を迎えました。本年が皆さんにとって昨年よりも少しでも良い年となりますように…(本部長 長谷諭)



「ほっとミーティング in 名古屋」開催

石川県で開催された「ほっとミーティング in 金沢」に続き、名古屋市にて同様のミーティングが開催されました。今回はその内容を中心にお届けします。

ありがとう復興支援



今年もよろしく
お願いします

震災から間もなく3年。被災地の外ではあたかも過去形のように震災を語り、次に想定されている地震についての話がされています。一方被災地では日々生じる様々な問題に苦闘する支援者がいます。被災地から遠く離れた場所にいる私たちに何ができるのか。その自問を繰り返し、現地に足を運びながら感じてきた現地との温度差。被災地外にいる私たちのやるべきことは今何が起きているかを知り、そして未来を考えることではないか…。

そんな私の想いに共感した方々にご協力を頂き、「ほっとミーティング in 名古屋」という企画が作られました。これまで「ほっとミーティング」は被災地（石巻・大船渡・福島）と金沢での全国大会で行われてきましたが、今回の「ほっとミーティング」では被災地の支援者2名を名古屋にお呼びし、被災地の外に住む者が知り・語り合うという場として企画いたしました。

みやぎ心のケアセンター渡部氏からの報告では震災からこれまでに至る支援経過とともに、その中で見えてきた課題などをお話いただきました。嵐氏からの報告の中では女川町での支援活動報告とともに、自身の職場での被災体験もお話いただきました。

それらを踏まえた交流の場では、報告の中では語られきれなかった部分にも突っ込んでお話を伺い、深めていくことができました。今回は被災地支援に関わった方や支部の災害対策委員として活動されている方だけでなく、全く被災地に関わったことがない方も多数参加されていましたが、今後の災害支援への関わり等へとつながっていくかと思えます。

「これから何ができるのか、何をすべきかを細く長く考え続けなければと思いました」「支援に関する自分のモヤモヤを吐き出せた気がします」といった声が聞かれたほか、支援に関わった人同士の交流や、現地の支援者との交流の場を望む声も出されていました。

最後になりましたが、今回の企画開催にあたりご協力くださった皆さま、特に会場手配等でご協力を頂きました愛知県支部・愛知県協会の皆さまに厚くお礼申し上げます。

岐阜県支部 特定非営利活動法人心泉会 太田隆康

前回紹介しきれなかった四国・中国ブロックの方々からの心温まるメッセージをお届けします。

☆マークは県花のイラストです☆ 高知県(やまもも) 岡山県(ももの花)

☆ 高知県支部長 上甲尚之



平成23年5月にこころのケアチームの一員として被災地を訪問させていただきました。短期間でしたが、自分自身 PSW としてなにができるのか？本当に考えさせられました。避難所等を訪問してもらいお話を聞かせてもらいましたが、大変な状況にありながらも私たちを温かく受け入れていただいたことが今でも印象に残っています。

遠く離れた高知県ですが、なにかお役に立てることがあれば協力していきたいと考えています。

(*。^*) 四国ブロックに続けと、中国ブロックの皆さんからも多くのメッセージが届きました。全国各地から頂戴しております温かなメッセージを皆様と分かち合いたく、なるべく速やかにお伝えして行きたいと思っています。しかしながら、この「東北復興 PSW にゆうす」発行のタイミングと必ずしも一致しない場合もあります。ご理解をお願いいたします。

☆ 岡山県支部 木本達男



東日本大震災から2年が経過しました。大震災から半年が経った頃に私は、東松島市にわずか1週間でしたが滞在し、支援活動を行いました。被災の現実はあまりに大きく自分の果たせる役割の小ささを突きつけられました。しかし、被災者でありながらも誇り高く働き続けている PSW や保健師の皆さんの姿は、私の目に力強く映り、未だにはっきりと思い出されます。

本日、ブルーインパルスが松島に戻ってきたといううれしいニュースを聞く事が出来ました。まだまだ、復興途上だとは思いますが、皆様の日々の歩みが着実に実を結んでいるのだと確信しました。

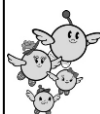
岡山の元気がとどくことを願いながら日々の実践に取り組んでいます。一日でも早い復興を心よりお祈りしております。



お知らせ 「第51回全国大会・第14回学術集会」が福島で開催されます



全国の皆様、福島は頑張っています。原発の汚染水問題等で不安定な福島ではありますが、1年後の平成27年に全国大会・学術集会を開きます。それに伴い福島県支部会員全員に大会テーマの意見具申を行い、理事会で決定したのが「共生、創造、未来 ～はじめよう、ここから！～」(「よらんしょ、こらんしょ、まざらんしょ。」)です。『障がい者、被災者、支援者、県民が共にガンバって生きている、ここに生きている。みんなが自分ひとりではないんだという想いで、それぞれが出来ることをしながら、そこから新たな創造をして未来を創っていこう。ここから、はじめよう。』という熱き想いを込めました。福島の東北の熱い想いを楽しさに包んで皆さまをお迎えしたいと想います。是非、福島に来てください。 福島県支部長 鈴木長司



♥～復興支援活動募金報告～♥

321,888円 (H25年4月～H25年12月13日現在)
皆様からお預かりした真心のこもった募金は、復興支援に携わる仲間への支援に役立ててまいります。引き続きご協力のほど、よろしく願いいたします。

☎復興支援本部「ほっと phone」

TEL070-6450-2615 小関本部長代行が
お応えします。お寄せいただいた声は、
復興支援に生かしてまいります

☆皆さんからのメッセージを募集します☆

本誌では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。本誌へのご意見・ご感想も大歓迎です。本紙面や協会ホームページにてご紹介させていただきます(原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載いたしません)。お届け先は下記復興支援本部へのFAXもしくはE-mailにてお願いいたします。

E-mail: office@japsw.or.jp * 題名に「PSW にゆうすについて」とご記入をお願いします。

第9号 2014年1月15日発行

発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援本部
〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993
復興支援本部 URL: <http://www.japsw.or.jp/f-honbu/>